

登録コード	MA740100	開講年度	2026				
授業科目名	地域・国際看護学特論					担当教員	五十嵐 久人 他
英文授業名	Special Lectures in Community Health Nursing and International Health Nursing					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・6時限	対象専攻／学年	地域・国際・精神看護学領域／1年次
講義室				授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄						
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)						
	【研究科共通】医学、保健学および関連諸科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて医療、医学研究もしくは教育を実践できる。					⇄	看護学, 公衆衛生学, 社会学から地域看護の存在意義と課題を根拠に基づき総合的に理解できる。
	【保健学】保健・医療・福祉の実践現場で他の分野と連携して新たな保健医療改革に貢献できる能力を有する。					⇄	集団の健康増進と保護を図るための個人へのアプローチ方法を理解できる。
(2)授業の概要	地域看護は、看護学, 公衆衛生学, 社会学による知識を用いて、集団の健康の増進と保護を図る活動である。この基本概念に沿って個人・集団を対象としたアプローチのあり方を探求する。担当教員の保健師として、および各専門分野のゲストスピーカー（地域で協働する職種）の実務経験を活かして講義を行います。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	1 地域看護の存在意義を説明できる。 2 事例を用いて看護学, 公衆衛生学, 社会学から得られた知見を総合的に説明できる。 3 事例を用いて個人へのアプローチの方法を説明できる。 4 事例を用いて集団へのアプローチの方法を説明できる。 5 事例見当から情報収集と分析力を身につける。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1 地域看護の存在意義を理解する。 2 看護学, 公衆衛生学, 社会学から得られた知見を総合的に理解する。 3 集団の健康増進と保護を図るための個人へのアプローチ方法を理解する。						
(5)授業計画	1 (4/13) オリエンテーション 2-3 (4/20.27) 健康と社会 4-7 (5/1.11.18.25) 個別へのアプローチ 8-11 (6/1.8.15.22) 集団へのアプローチ 12-14 (6/29.7/6.13) 政策化 15 (7/27) まとめ						
(6)授業の進め方	教員の講義及び学生の発表に基づいた討論により進める。 講義日、発表日については学生と調整を行う。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】 毎回の授業の最後に、次の回の授業に向けた課題を出す。プレゼンテーション・ディスカッションでは、学生中心に進めるので資料作成、話し合いの資料やテーマの準備をしてください。 【事後学習】 授業やディスカッションを通して不明な点や理解が不十分であった点を調べ、解決できるようにしてください。						
(8)成績評価の方法	発表内容（60%）及び最終レポート（40%）で評価を行う						
(9)成績評価の基準	発表内容およびレポートは、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たし「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある（可）」。 100-90点：秀 89-80点：優 79-70点：良 69-60点：可 発表内容 50% レポート50%						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	個人が知りたいと考えている内容を深く掘り下げる努力をしていきましょう。 e-mail 五十嵐 higaras@shinshu-u.ac.jp						
【テキスト、教材、参考書】	適宜提示する。						